

わたしたちの礼拝と新型コロナウイルス問題への対応について(2)

日本基督教団 京北教会 役員会
主任担任教師 今井牧夫

「勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」(ヨハネによる福音書 16章 33節)

この京北教会に来られる、お一人おひとりに天来の恵みをお祈りいたします。

2020年7月9日(木)京北教会役員会で、コロナ問題対策を話し合い、4月から実施してきた感染対策を今後9月上旬まで、さらに継続すると決めました。(以降は未定)

その上で、礼拝の持ち方について、以下の変更を行います。

- (1) 礼拝での奏楽につき、可能な場合に、奏楽者の自発的なご奉仕をいただきます。
- (2) 讃美歌は、ごく小声で歌うか、奏楽を聴いて心の中で讃美を献げることにします。
- (3) 説教や祈祷の形式(音源再生)など、礼拝形式の適宜の変更を牧師に一任します。

以上のもとで、以下の感染対策を継続します。

- 1 日曜日の礼拝堂での礼拝への出席を、どなたに対しても呼びかけません。日曜日でも平日でも、各人の生活の場で個人で礼拝を行うことを呼びかけます。
- 2 日曜日の礼拝堂での聖日礼拝を、以下の感染対策をして、有志で行います。
 - (1) 換気のため窓を開けて礼拝します。出席者にマスクと手洗いをお勧めします。
 - (2) 聖書・讃美歌はすべてプリントを用います。備え付け品は使いません。
 - (4) 礼拝の受付は、事前に分担を依頼せず、当日来られた方に協力を依頼します。
 - (5) 奏楽は、奏楽者の自発的なご奉仕をいただき、場合により録音再生で実施します。
 - (5) 讃美歌は、ごく小声で歌うか、奏楽を聴くことにします。起立は各人の自由です。
 - (6) 祈祷・聖書朗読・説教などの形式(録音再生または実際)は、牧師に一任します。
 - (7) 献金は、後奏後に、講壇前の机上の入れ物に自由にさせていただきます。
 - (8) 礼拝後に、茶菓の席や懇談など交流の時間は持ちません。

- 3 牧師と役員会は、皆様の無事をお祈りしております。そして、この問題に苦しみ労する世界のすべての人に、神様のお支えを願い、共に生きるために皆で祈りましょう。